

ガバナー月信

Vol.7

2003.1.1

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES

国際ロータリー第2840地区

2002-2003年度

ガバナー 矢野 亨

376-0011 群馬県桐生市相生町5丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑内

TEL 0277-55-5288 FAX 0277-55-5289

yano.gov@kibounoie.or.jp

<http://www.kibounoie.or.jp/gov>

題字 矢野 亨



1月はロ-タリ-理解推進月間です

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
“富岡かぶらロータリークラブ”	
創立総会の報告	8
委員会報告	9
ローターアクト例会訪問記録	11
地区茶の湯倶楽部たより	12
新会員紹介	14
文庫通信	15
出席報告、1月の予定	16



ガバナーメッセージ



ガバナーメッセージ
「2003年の年頭にあたって」

2840地区

ガバナー 矢野 亨

新年おめでとうございます。

矢野年度も、お蔭様で折り返し点を迎える事が出来ました。

昨年一月末のアナハイム行き、帰ってからのPETSから始まる慌しい6カ月、7月からの公式訪問、地区大会、リーダーシップセミナー等の諸行事も、5人の素晴らしいA.Gさん、地区役員の皆さん、46クラブの皆さんの御協力、御支援を得て、滞りなく遂行することができましたことを厚くお礼申し上げます。私は、この一年、多くの事を学ばさせていただきましたが、特に全県下のクラブを公式訪問することによって、各地で他業種を含めた多くの知己を得る事が出来たこと、更にロータリーの置かれている社

会環境全般について広く勉強させていただきました。これはロータリーでなければ得られない貴重な体験であったとも言えましょう。

その意味でも、私はガバナーをつとめさせていただいたことに、深く感謝しているところです。

あと半年、矢野年度の仕上げの期間です。各クラブの皆様方のロータリー活動に対する更なる御協力を切にお願い申し上げます。

また、この半年は、森田年度の序走の期間と重なります。森田年度とスクラムを組み、スムーズな移行を心掛けたいと思います。

以上

題字によせて

竹筆の賀正

竹筆は孟宗竹の茎を丹念に削いで、動物の毛の代りに筆の穂先としたものである。本来竹であるから、動物の毛のようにうまきはゆかない、繊細な一本一本を手作りで竹を削いでゆくのだから、大変な手間と技術を要する事になる。

筆作りの本場は奈良である。奈良から手にいれた「竹筆」で、正月の挨拶を書いてみた。竹筆の味が出ているだろうか。

何時か京都のさるお寺で、一休和尚が竹筆で書いた、雄渾な掛け軸を見たことがある。私の字など、到底比較にもならないが、正月に免じて勘弁していただきたい。

「ロータリーの奉仕と地域福祉」

（其の六）

前号までの話は、我が国は明治維新から日清戦争、日露戦争を経て近代国家への道を突き進んできました。しかし、その反面、一般庶民の生活は必ずしも、好転せず、むしろ戦争遂行のための間接的被害、すなわちネガティブな影響を強く受けていたのであります。前号で紹介した製糸工場での農山村から狩り出された女工さんたちの悲しい物語のように都会に沈殿し、埋没した多くの庶民がいたのであります。

1. 貧困な国の施策

そこで国は一体、なにをしたのでしょうか？ 庶民に対して福祉の手を差し伸べる努力をしたのでしょうか？ 残念ながら、NOと言わざるを得ません。

歴史をひも解きますと、わずかにあるにはありました。それは、明治5年ロシアの皇太子「アレクセイ」が日本を訪問するというので当時の江戸には維新の混乱で浮浪者が溢れていたようです。これでは、帝都の恥というわけで、急遽浮浪者窮民を収容したのです。これが東京都養育院のはじまりでした。施設長になったのは当時、財界の雄といわれた「**渋沢栄一**」でした。渋沢栄一は晩年、実業家を辞めて社会事業家になると宣言して、数多くの福祉事業に取り組んだ人であり、これが彼が並みの実業家ではない、本当に偉いところであり、このような官営事業は、僅かに存在しました

が、国としては、もともと窮民を救済しようとする趣旨ではなく、お客さんが来るから汚いものを押入れにでも入れておこうかという甚だ不純な動機であったといえるかもしれません。

このように**国としては貧民救済福祉政策には積極的な行動が見られなかった**のであります。国がそのような福祉に対して曖昧な態度であったので、それを補うように民間の慈善組織であるセツルメント運動が始まりました。

2. セツルメント運動について

我が国のセツルメントについて述べることになる前に、このセツルメント運動の発祥について簡単に述べなければなりません、私は今回の月信のなかで、すでに典型的なセツルメント運動として2つのセツルメントの名を紹介しました。その1つは、**ロンドンのトインビーホール**であり、他の1つは、**シカゴのハルハウス**であります。

シカゴのハルハウスについては、すでに月信で紹介しました通り、これを作ったジェーン・アダムスは丁度、ロータリーをつくったポール・ハリスと同じ時代にシカゴに住み、このハルハウスを拠点として献身的な社会福祉活動を行いました。その結果このジェーン・アダムスが「米国の良心」と讃えられ、**ノーベル平和賞**を受けることになったにもかかわらず、ロータリーのポール・ハリスがなぜノーベル賞を受けられなかったのかという理由について、**決議23の34**を中



心として私なりの推論を行いました。彼女は、シカゴに来る前はロンドンのトインビーホールで、セツルメントの勉強をしたのです。セツルメント運動の大本山といわれているロンドンのトインビーホールについて、少し説明をいたします。

世界で最初のセツルメント運動、トインビーホールは1884年に創立されました。歴史学者でもある「ARNOLD TOYNBEE」の次の文章はセツルメント運動の本質をよく説明していると思うので紹介いたします。

"我々、知識階級は今まで労働者諸君を無視し、愛情の代わりに施しと役に立たない忠告しか与えようとしなかった。この我々の誤りと罪をここに告白し、諸君の許しを請いたい。我々が求めるものは、社会的地位でもなければ名誉でもない。それはただ、労働者諸君の信頼である。

諸君の生活が向上し、より高い生活に達することこそ我々の願いである。しかし、諸君が物質的に豊かになったとしても、それが最後の幸福ではないことを知ってもらいたい。諸君は目を天に向けて欲しい。もし、諸君が隣人を愛し、広大な理想を抱き続ける人生を歩むなら、我々の喜びはこれに過るものはない。我々と諸君がまず、手を取り合って隣人を愛することこそ、よりよい国家を創造し、また国家が他国に対して犯してきた多くの誤りを償うことになるであろう。

" 田川 大吉郎 訳(英国社会改良史

論)

名著として名高い「イギリス産業革命史」の著者でもあるトインビーがセツルメントを始めるに当たって、その理念を高く掲げたのであります。

セツルメントとは、単なる慈善事業ではなく、貧困な労働者の現状を自らの罪として捉え、労働者と共に歩もうとする考え方であります。

これだけの理念を、はっきりと宣言出来る社会福祉事業家が日本に何人いたのだろうか、と考えると、心寒い思いがします。

この考え方は、キリスト教社会主義の基本理念となって、セツルメント運動は各地で広がりを見せるに至り、やがて立案されることになる社会福祉政策への掛け橋の役目を担うのであります。

3. 日本におけるセツルメント運動

我が国においては、国の社会福祉施策は誠に御粗末の限りでありました、明治23年石井十次が岡山に作った貧窮青少年救済施設がセツルメントの第一号だと言われています。これから、第一次世界大戦までが、日本のセツルメント運動の創生期と言われております。

この石井十次については、次号で詳しく述べる予定です。

セツルメント運動の全盛期は、大正7年から昭和5年頃まで、昭和6年から、満州事変から始まる15年戦争のため、衰退してまいりました。

しかし、ここで、セツルメントの

2, 3の例をご紹介します。

片山 潜のキングスレーホール(1897、明治30年)は本格的なセツルメントであったとも言われております。片山は社会改良のため、労働者階級を意識して、その救済のため活躍いたしました。しかし、この片山 潜は社会運動家ではありましたが、のちに筋金入りの共産党議員になり、明治3年に施行された治安警察法によって取り締まりの対象となり、セツルメント運動も消滅しました。

戦前の「セツルメントの研究」という本によれば、**1910年(明治43年)の有隣園**が最初のセツルメントであると評価しております。この有隣園は、大森 兵蔵(明治9年、岡山に生まれる。米国に留学し体育学を日本に始めて導入した)と、夫人 安仁子(米国人であったが日本に帰化した)夫妻による幼児教育を主体とした施設であり、宿泊所、授産所、幼稚園などを備え、慈善施設というよりは、むしろ援助を主眼とした社会福祉事業であります。このころ、特にキリスト教によるセツルメントが多く見られ、熱心なクリスチャンである**賀川 豊彦**は、この方面の優れた活動家でありました。セツルメントの表を次に示します。

	公立	私立	計
大正14年	14	42	56
昭和3年	16	73	89
昭和5年	28	87	115
昭和7年	37	115	152

昭和9年 41 128 169

公立のセツルメントが見られるが、これは社会福祉事業のデパート的なものが多かったのです。また、ユニークなものとして、大正12年の関東大震災の被害に対して、大正13年東大セツルメント運動も活躍した。そこには、終戦後日本の厚生行政に腕を振るう若きドクターの名前(曾田長宗など)が多く見られております。

昭和2年(1927年)には、金融恐慌に続いて、世界大恐慌が国民を襲います。農民は、窮乏のどん底にあえぐことになります。

4. 政府の対応

貧困な庶民の救済に、国家として、民間を主体としたセツルメント運動等に頼るのみで、救済政策のあまりにも無策なのにただただ驚くばかりであります。

昭和6年(1931年)における公的な救済制度は、明治7年(1874年)の恤救規則のみでありました。これは、近代国家の公的扶助制度の基本条件は全く備わっておりません。対象は独身の老人、幼児、障害者、疾病等、きわめて制限されたもので、内容も50日以内の米代支給のみでありました。**昭和4年(1929年)**田中義一内閣のときに、初めて「**救護法案**」が作られ、国会を通った。これは政府の公的救済義務を確立したもので、画期的でありましたが残念ながら、浜口内閣で緊縮財政のために実施が延期されました。この法案は、困窮者



の救済を国の義務とし、費用負担も国と市町村の役割を明確にしており、当時としては進歩的な法案でありました。当時、要救護層は全国で20万人、要保護層は全国で200万人と推定されておりましたが、考えてみると、明治維新直後の明治7年から、昭和の初年までの55年間の長い間、我が国の福祉行政が、明治7年の未熟な救護法案のままで過ごされていたと言う驚くべき事実を、我々はこの様に理解したらよいのだろうか。誠に理解に苦しむところであります。

大正六年(1917)にはロシア革命が起こり、国内でも富山県を発端とした「米騒動」が起こりました。労働運動が起こり、知識人のなかにマルキストも増えてきました。このような社会背景のなかで、昭和6年、満州で戦火が始まります。満州事変です。15年戦争のはじまりであります。国をあげて次第にファシズムの体制が確立され、その結果、失業、貧農対策は片隅に追いやられてしまい、特に農村問題は満蒙移民に次第に吸収されていったのです。

その間、外国では社会保障や社会福祉を体制化し、将来の福祉国家への歩みを打ち立てていた。

このような状況のもとで、我が国の福祉は、益々米国や西欧先進国と比べて、完全に立ち遅れたのであります。

「欲しがりません勝つまでは」第二次世界大戦までの15年戦争の間「福祉」は完全に忘却のなかに置いておかれたと言ってもよいのであります。

福祉が漸く陽の目をみるのは、太平洋戦争敗戦によって昭和21年、「生活保護法」が制定されたことです。この特徴は、人種、宗教、性別、社会的身分等により、優先的また、差別的に取り扱われることのないよう国家の責任において平等の扶助を行うことを決めたものであります。

さらに昭和25年、改正された現行「生活保護法」では、人間として生存権の理念に基づく制度であるということ、また一定の条件のもとで保護を受ける権利を有すること、保護の水準は健康で文化的な最低限度の生活を維持できるものとなりました。

我が国は、**アメリカの民主主義という大蛇によって、漸く世間並みの「福祉」**を手にいれることができたのです。本当に長い、苦難の道程であったと言えますでしょう。

二．二六事件と社会福祉

我が国の社会福祉政策を論ずるとき、私はどうしても、二・二六事件の青年将校に思いを馳せざるを得ないのであります。

決起した青年将校に率いられた数百名の軍隊は、昭和11年2月26日未明、岡田総理大臣、斎藤内大臣、高橋大蔵大臣、渡辺教育総監を襲撃して即死させ(岡田首相は身代りが死亡、本人は助かる)、牧野内大臣、鈴木貫太郎侍従長を負傷させ、山王ホテルを中心に立てこもった。旗印は「昭和維新」「尊王討奸」

で、新しい政治体制を期待し、君側の奸を除くことにあった。

決起した青年将校の心には、軍隊内部の皇道派とか、統制派の争いは別として、何よりも心乱れるものがありました。当時の日本は、独占資本主義による貧富の差が激しく、かてて加えて恐慌の嵐が農村を直撃し、失業者が巷に溢れておりました。徴兵制度によって入隊してくる初年兵教育に際して、兵達の家庭は疲弊し、働き手を失った家庭の状況に、共に心を痛み、貧困のあまり兵の姉妹が身売りしなければならない農村の惨状に、将校達は兵と共に泣きました。富国強兵は名ばかりで、徴兵される兵の実家の惨嘆たる実情に接する度に、この国を何とかしなくてはなりません。財閥と組んでいる為政者を排除して、国家を改造

しなければならない、と考えるのは、人として極く自然の成り行きでもあったでしょう。高潔な人格者で、首謀者の一人であった安藤輝三大尉は、部下の除隊兵に自分の俸給を分けて仕送りしていたと言われており、二月二十九日大尉は、自決前に兵の一人と抱き合いながら、「お前の心配していた農村も、とうとう救われなかったなあ」と暫し絶句したということです。

国の福祉政策の長年の無策が、あたら有為の青年将校たちの生命を奪い、結果的に政治家の命を奪ったことになりま

す。
次号は、明治大正に活躍した留岡幸助や石井十次などわが国では数少ない偉大な社会福祉の貢献者を紹介いたします。

以下次号

トータル5万ドル2年間でパイオニア地区になりました。





“富岡かぶらロータリークラブ” 創立総会の報告

R I 第 2 8 4 0 地区 第 4 7 番目 R C 誕生へ！

地区拡大委員長 **佐藤 弘**（富岡中央 R C）



去る 12 月 3 日、R I 第 2 8 4 0 地区新設クラブ「富岡かぶらロータリークラブ」が創立総会を催し、正式に発足いたしました。当日は、矢野ガバナー、清直前ガバナーを始め、多数の地区役員・委員の方々のご列席をいただき、また地元来賓、新クラブ創立会員並びにスポンサークラブ（富岡中央 R C）会員の出席を合わせて盛大な総会が開催されました。

スポンサークラブである富岡中央クラブの会員みなさん、とりわけ新クラブ設立準備委員会のメンバーには、努力が見事に実を結びつつあることに心よりお祝いと御礼を申し上げたいと思います。また、ご出席をいただきました地区役員並びに委員の方々には心より感謝を申し上げます。

「富岡かぶらロータリークラブ」はすでに仮ロータリークラブとして例会を何度か重ね、会長以下各役員・理事も総会を経て正式に承認され、現在 R I へ加盟申請を行う

段階に至っております。数ヶ月後には当地区第 4 7 番目のロータリークラブとして認承状が伝達され、チャーターナイト（3 月初旬予定）が開催できる見込みであります。その折りは再度地区の皆様にはご足労をかけるかと思われませんが、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

以下、地区拡大委員会として新クラブ設立の経過を記しておきたいと思えます。

前年度（清ガバナー年度）当初、時の地区拡大委員長松島氏並びに松岡地区副幹事が富岡中央クラブを訪問し富岡地域に新クラブ設立の要請を行いました。

中央クラブ柳沢会長はクラブの意向として「未だ時期尚早の感があり、当年度は無理。しかし近い将来の新クラブ拡大を目指す検討委員会を設け前向きに対処していきたい」との回答でした。

しかしながら、年が明けて、次年度（矢野年度）の地区拡大委員長が富岡中央クラブに



委員会報告

決まると、クラブ内に早期に新クラブを立ち上げようという気運が急速に高まり、検討委員会は準備委員会へと衣替えし、新クラブ設立へと歩み出しました。

4月、清ガバナーより野村中央クラブ初代会長に新クラブ特別代表の委嘱状が手渡され、名実ともにスポンサークラブの旗揚げとなりました。

年度が代わり中央クラブ伊原新会長は年度目標の第1に「新クラブ設立」を据え、クラブ一丸となって設立に邁進することを確認し、以後数ヶ月準備委員会を中心に新クラブ創立会員の獲得に汗を流しました。

現下の厳しい経済情勢のもとで新クラブ会員の勧誘は予想以上に難しく、ようやく9月末時点で30名まで達しました。その後多少の出入りを経た後、いよいよ新クラブとして形ができ11月12日に第一回の仮例会開会にこぎつけました。

以後2回の例会を持ち役員・理事等の組織陣容も整い、第4回例会を創立総会として「富岡かぶらロータリークラブ」が正式に船出をいたしました。

創立総会を終え、まもなくRIへ加盟申請を出すばかりになりました現在、設立に関わったすべての人々にお礼と感謝を申し上げますとともに、新クラブが創立初期の諸問題をなんとかクリアーし、無事にチャーターナイトを迎えられることを神に祈る気持ちでいっぱいでありました。みなさん本当に有り難うございました。

H14.12.12

国際ロータリー第2840地区 ローターアクト 第3回地区年次大会の報告

地区RA委員長 **宮澤 孝幸**（沼田RC）

去る12月14日（土）桐生プリオパレスにて、RID 2840 RA 第3回地区年次大会が、「協奏」～一人ひとりの意識がアクトを変える～をテーマに、桐生西RCのスポンサーの下、桐生西RACをホストとし、桐生RAC・太田RACをコ・ホストとして盛大に開催されました。

当日は、ご来賓として桐生市長の大澤善隆様、特別養護老人ホームユートピア広沢施設長、毛呂八夫様代理坂本俊一様、またガバナー矢野 亨様をはじめとした、ロータリーの役員の方々のご臨席を賜わり、参加地区・参加クラブ・参加人数は、地区外RA 13地区94名、地区内RAC 12クラブ93名、地区外RC 1クラブ1名、地区内RC 18クラブ69名、当日登録3名の計260名という大勢の皆様に参加していただきました。

大会セレモニーのオープニングは、パソコンを使いステージ中央の画面にRAの地区役員・各分区の紹介がされました。（以下詳細については、大会プログラムを参照して下さい。）

本大会の記念事業は、資金0からのスタートでローターアクターがそれぞれ持ちよった品物でチャリティーバザーをし、その収益で特別養護老人ホーム「ユートピア広沢」へ車椅子3台を寄贈いたしました。

記念プログラムは、「ブライタイズ」によるロックコンサートでした。



ブライタイズのメンバーは5人で、みんな耳が不自由であり、その内の1名だけ健聴者であります。

音楽演奏者にとって「耳が聞こえない、音が拾えない」ということは、致命的なハンディーだと思いますが、メンバーは「耳が聞こえなくても瞳がある」という強いプラス思考でそれぞれが工夫し、心をひとつにしてロック演奏をしています。

ロックのリズムと手話をまじえたコンサートは、バンドのメンバーとアクターが一体となって、会場も大いに盛り上がりました。そして、それは「何事も創意工夫と努力によって成せば成る、やれば出来る」という熱いメッセージとして会場の皆様に大きな勇気と感動を与えてくれたことと思います。

一つのことを成すというのは、やってみると非常に大変なことだと思います。しかし、それに対し一生懸命やった人にはそれだけの「達成感と大きな自信」という、人生の財産がまた一つ増えたことと思います。

これからもアクターが失敗を恐れず何事にも挑戦する勇気を持ち、さらに研鑽を積み重ねることを期待してご報告いたします。

第4回国際奉仕委員会会議報告

開催日・時間：2002年12月15日
12:00～15:30

会場：桐生プリオパレス

出席者：ガバナー 矢野 亨

国際奉仕委員長 伊能 富雄

青少年交換委員長 天笠 博

委員 蛭田 義徳・豊泉 清

世界社会奉仕・友情交換委員長

小暮 高史

委員 黒川 祐邦・大越 正禎

地区副幹事 下井田 秀一

報告事項

司会進行 下井田 秀一

開会

ガバナー挨拶

委員長挨拶

協議

a) 今までの活動報告及び今後の予定

・世界社会奉仕・友情交換委員会

委員長 小暮 高史

・青少年交換委員会

委員長 天笠 博

b) その他

閉会

(国際奉仕担当副幹事 下井田秀一 記)

地区拡大委員会会議報告

開催日・時間：2002年11月9日

12:00～14:00

会場：前橋東急イン

出席者：佐藤弘地区拡大委員長

女性会員特別増強委員 工藤恵委員

第2分区 小澤昭次委員

第4分区 守谷重雄委員

根本正則地区幹事

堀口信行副幹事

報告事項

第一回地区拡大委員会報告及び打合せ

佐藤地区拡大委員長より報告事項

新クラブ(富岡かぶら 仮称)設立までの経過説明及び創立総会12/3

R認証状伝達式(3/3予定)の報告

清年度より活動を始め矢野年度4ヶ月での実現に根本地区幹事より謝意の言葉で

閉会

(地区拡大担当副幹事 堀口信行 記)

ローターアクト例会訪問記録

訪問クラブ 渋川RAC

日時 平成14年11月6日(水)

19:30 ~ 21:00

会場 渋川電気センター 2F

出席者 合計 36名

渋川RAC 13名 / 渋川RC 12名

渋川みどりRC 3名 /

RAC地区 6名 / 地区RC 2名

感想

渋川RACは、会員数が18名と地区内最多数を誇り、とても活気のあるクラブであります。

それは、スポンサークラブである渋川RCさんが、クラブのRA委員を3年委員にし、アクトに対する、より深い理解と指導そして力強い支援をしているからであります。

また、渋川みどりRCさんもアクトの活動資金として年間10万円もの補助をしていてくれるからだと思います。

ローターアクトの皆様が、両RCの支援の心を心として期待に応えるべく、さらなる飛躍をお祈りいたします。

報告者 宮澤 孝幸(沼田RC)

訪問クラブ 藤岡RAC

日時 平成14年11月20日(水)

19時30分~21時

会場 みかぼみらい館 2F 研修室

出席者 合計 19名

藤岡RAC 7名 / 藤岡RC 6名

地区RA 4名 / 地区RC 2名

感想

今回で例会参加2回目の方も居て、慣れるまで大変ですが頑張ってください。会長挨拶や意見交換で全員が楽しくできるRAC

でなければならぬと話がありましたが、まさにその通りだと思います。地区の他、クラブの例会参考にして、より楽しい例会にしてください。

報告者 村田 茂行(藤岡RC)

訪問クラブ 中之条RAC

日時 平成14年11月22日(金)

20:00 ~ 21:30

会場 割烹 藤美

出席者 合計19名

中之条RAC 8名 / 中之条RC 3名

RAC地区 6名 / 地区RC 2名

感想

中之条RACは、若さと活気があり、前年度の地区代表・地区幹事を輩出したクラブであります。特にアクトの活動の原点ともいえる親睦に、力を注いでおります。

スポンサークラブである、中之条RCの田村義一幹事は、2年前のクラブのRA委員長であり、アクターの良き理解者であります。お陰でロータリーとアクトとのコミュニケーションもうまく図れていると思います。

これからも中之条RACの益々の御発展を期待いたします。

報告者 宮澤 孝幸(沼田RC)



地区茶の湯倶楽部たより
「茶の湯倶楽部第5回茶会兼研修会が
開かれる」



紅葉秋風に舞う昨年11月23日、桐生郊外にある「茶寮いま泉」において、第2840地区第5回茶会兼研修会が開催された。

この会合は、地区ロータリアンに対し、国際性をもちしかも日本の総合伝統文化である「茶の湯」に親んでもらうべく企画されたもので、地区茶の湯倶楽部世話人5人（ちなみに流派を問わないことから、5人で4流派と多彩）の手によって、年2回、ガバナー選出地域において、ガバナーを中心として持ち回り式で開催されているもので、今回は5回目にあたる。

当日は、矢野亨ガバナーをはじめ、44人のロータリアンやその家族が参加し、ま

ずは世話人の一人である森田均ガバナーエレクトの「お抹茶とお菓子のいただき方」、「茶会に招かれて」という講義を聞き、ついで岸宗香さん（裏千家）の華やかな点前のもと、参加者一同和気あいのうちに薄茶や点心を楽しんだ。

（写真は2葉とも、待合で森田ガバナーエレクトの講義を聞く矢野ガバナーら参加ロータリアン）

研修資料1

「お抹茶とお菓子のいただき方」

平成14年11月23日

R I D 2 8 4 0 茶の湯倶楽部茶会

渋川ロータリークラブ（裏千家）

世話人 森田 均

1. お抹茶（薄茶）のいただき方

お茶碗を右手でへり内に取り込み、次客との間に置く

次客に「お先に」と挨拶する

正面に右手で置き直す

「お手前、頂戴します」と亭主に挨拶する

右手で持ち上げ左手に乗せ、感謝を込めてお茶碗をおしいただく

右手で手前に1～2回まわして、正面をよける

両手（右手は横、左手は下）でお茶碗をしっかり支えていただく

飲み終わる時、「吸い切り」をする

飲み口を右手親指・人差し指で清め、指先を懐中の懐紙でふく

正面に戻す

へり外に出す

お茶碗を拝見する

* 両手について全体の形を拝見し、両肘を膝の上ののせて茶碗を両手にと

り細部を拝見し、終りにもう一度全体を拝見する

2. お菓子のいただき方

(主菓子・菓子鉢の場合)

亭主から「お菓子をどうぞ」と挨拶がある

「お菓子、頂戴します」と受け礼をする

次客に「お先に」と挨拶する

感謝を込めて菓子鉢を両手でおしいただく

懐紙を出して、輪(わさ)になる方を手前に置く

取り箸を右手で上から持って、左手を添えて割る

菓子鉢から(取りやすい)菓子をとる
懐紙の上に菓子をのせ、箸を左手で添えて、右手で上から持ちかえる

取り箸を懐紙左角で清める

取り箸を右手で菓子鉢に戻す

菓子鉢を両手で持ち上げて次客に送る
懐紙ごと持ち上げて、菓子切りあるいは楊枝で切っていただく

食べ終わったら、懐紙で菓子切りあるいは楊枝を包んで懐に入れる

* 出された楊枝は、持ち帰ってよい

* 干菓子の場合は、右手で(2種類の場合は向こう側から)とる

後は主菓子と同様

研修資料2 「茶会に招かれて」

平成14年11月23日

R I D 2 8 4 0 茶の湯倶楽部茶会

渋川ロータリークラブ(裏千家)

世話人 森田均

1. 茶会に招待された時の心得

時間より早め(15分~20分前)に、

先方に着くようにする

服装は茶会のレベルに合わせる

最小限必要な持ち物としては、扇子、懐紙、楊枝などがある

席入りする前に、時計や貴金属類は外しておく

2. 寄付、待合から迎えつけまで

(小寄せ)

寄付、待合に通じ、床などを拝見し、身支度をする

正客が誰かを見きわめる

お湯を頂き、案内に従い、順次、腰掛けに通る

亭主の迎えつけを受けて、順次、蹲踞を使い席入りする

(大寄せ)

受付を通して、直に席入りする

茶席券は、受付で出すか、席中で盆が回されたらその中に入れる

3. 席入りから床の掛け物などの拝見まで

(小寄せ)

正客から順に、にじり口あるいは普通の入り口から席入りする

この時は、戸あるいは襖などを開け、扇子をひざ前向こうに置いて両手をついて、席中をうかがう

にじって席中に入る

まず正客から順に床正面に進む

扇子を前に一礼し、掛け物、花、花入れ、香合を、順次、拝見し、再び一礼する

つぎに炉または風炉の正面に進み、同様に拝見する

拝見が終わったら、後の人の拝見の邪魔にならぬよう、適当なところに仮に座る

(仮座)

すべての拝見が終わったら、正客から順に定座につく(床に近い方が上座。たば



こ盆が出されている時は、そこが上座)
(大寄せ)

入り口から、順次入って(にじらないこ
とが、多い) 詰めるようにして座につく
正客以外の人の床の掛物や道具の拝見
は、帰りがけに適宜することになる

*小寄せの場合、正客はあらかじめ決め
られていることが多い

*大寄せの場合には、男性や年配者が正
客になることが多い

4. 棗、茶杓の拝見

亭主が水指の蓋を閉めたところで、正客
から棗、茶杓の拝見を所望する
棗、茶杓の順にへり内右膝近くに取り込
む(正客の場合)

この時、棗は右手半月に持ち、茶杓も右
手で持つ(以下はすべて同様)

亭主が水指を引いたら、次客に「お先に」
と次礼して、まず、棗からへり外正面に

おく

全体の姿を拝見した後、胴に左手を添え
ながら、右手で蓋を取り、蓋裏も拝見し、
戻して胴の横におく

つぎに胴を右手で持って左手の上に乗せ
て、中の抹茶の状態を拝見する

胴を戻し、蓋をしてから、改めて全体の
姿を拝見する

棗を、次客寄りのへり内へ送る

茶杓を、右手で、へり外正面に置く

全体の姿を拝見してから、両手で持って
詳しく拝見する

その後戻し、改めて全体の姿を拝見する
茶杓を、次客寄りのへり内に送る

*棗の蓋は、決して裏返しのまま置か
ないこと

*棗の中には、抹茶が入っているのでひっ
くり返したりしないこと

*茶杓は、節より先を持たないこと

新 会 員 紹 介



伊勢崎ロータリークラブ
入会日：2002年11月20日
職業分類：建築設計
勤務先：(株)現代設計
役職：代表取締役
推薦者：相沢英男 峰岸則幸

大澤 宗夫



前橋西ロータリークラブ
入会日：2002年11月1日
職業分類：地方銀行
勤務先：(株)群馬銀行
役職：前橋支店長
推薦者：青木次男

富田 好治



桐生赤城ロータリークラブ
生年月日：1961.12.13
入会年月日：2002.11.26
職業分類：不動産販売
勤務先：清水開発(株)
役職：代表取締役
推薦者：佐藤 治男

清水 哲



桐生赤城ロータリークラブ
生年月日：1944.6.5
入会年月日：2002.11.26
職業分類：繊維製品加工
勤務先：大島繊維(株)
役職：常務取締役
推薦者：金井 利雄・関田 純安

大島 巖



館林ロータリークラブ
 入会日：2002年11月1日
 職業分類：石油製品配布
 勤務先：関彰商事(株)
 役職：支店長
 推薦者：高木貞一郎 新井保

香取 茂



前橋ロータリークラブ
 入会年月日：2002年11月19日
 職業分類：弁護士
 勤務先：阿久澤・紺法律事務所
 役職：副所長
 推薦者：曾我隆一

紺 正行



渋川ロータリークラブ
 入会年月日：2002年11月7日
 職業分類：商業銀行
 勤務先：株式会社群馬銀行渋川支店
 役職：支店長
 推薦者：田村優

大澤 克博

..... 文 庫 通 信 (183号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2001～2002年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	144,223	雇用保険料預り金	10,962
普通預金	10,935,935	社会保険料預り金	117,711
定期預金	5,000,000	負債合計	128,673
仮 払 金	235,796	正味財産	
現金預金計	16,315,954	次期繰越剰余金	16,187,281
合 計	16,315,954	合 計	16,315,954

(収支計算書)

収 入		支 出	
会費収入	34,449,900	委員会費	2,189,597
雑収入	327,176	業務費	6,042,439
		賃貸管理費	13,894,392
		人件費	15,419,528
		予備費	376,278
当期合計	34,777,076	当期合計	37,922,234
前期繰越収支差額	19,332,439	当期収支差額	3,145,158
収入合計	54,109,515	次期繰越収支差額	16,187,281

東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

第2840地区 2002年11月出席報告

クラブ数	会員数				
	11月初	11月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
46	2,371	2,376	5	52	86.23

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			月初	月末	増減	女性				月初	月末	増減	女性		
第1分区分	前橋	4	94.17	98	99	1	0	第3分区分	高崎東	4	88.75	63	63	0	0
	前橋西	5	98.57	69	70	1	0		富岡中央	4	83.89	46	45	-1	0
	前橋東	4	89.47	72	72	0	0		高崎シソフォニー	5	82.55	51	52	1	3
	前橋北	3	85.57	63	63	0	2		碓氷安中	4	70.16	31	31	0	3
	前橋南	4	90.25	40	41	1	0		高崎セントラル	4	74.38	44	44	0	0
	前橋中央	4	90.50	42	41	-1	4		藤岡南	5	77.84	37	37	0	4
	合計(6クラブ)		91.42	384	386	2	6		合計(13クラブ)		82.18	662	661	-1	19
第2分区分	桐生	2	89.38	72	72	0	0	第4分区分	太田	4	86.67	99	99	0	0
	伊勢崎	4	92.61	74	75	1	0		館林	5	86.55	61	61	0	0
	桐生南	4	80.43	53	54	1	3		大泉	4	88.00	53	54	1	2
	群馬境	4	88.00	51	51	0	3		太田西	4	82.93	41	41	0	1
	桐生西	5	96.25	67	67	0	0		太田南	3	95.12	56	56	0	0
	伊勢崎中央	4	86.02	62	62	0	0		館林西	4	88.11	23	23	0	0
	伊勢崎南	3	83.90	41	41	0	1		新田	4	83.34	37	36	-1	0
	桐生中央	4	81.93	41	41	0	5		館林東	4	70.83	32	32	0	1
	伊勢崎東	3	89.74	39	39	0	1		太田中央	5	85.00	36	36	0	3
	桐生赤城	4	90.59	43	45	2	2		館林シニアム	4	82.29	32	32	0	0
	合計(10クラブ)		87.89	543	547	4	15		合計(10クラブ)		84.88	470	470	0	7
第3分区分	高崎	3	97.68	77	77	0	0	第5分区分	渋川	4	89.85	72	73	1	2
	高崎南	4	90.99	77	76	-1	3		沼田	4	86.44	59	58	-1	0
	富岡	4	98.14	57	57	0	3		草津	4	90.03	28	28	0	1
	藤岡	4	89.92	59	59	0	2		水上	4	80.54	9	9	0	0
	安中	4	70.13	36	36	0	0		中之条	4	98.16	30	30	0	1
	高崎北	4	80.66	64	64	0	0		沼田中央	4	90.30	67	67	0	0
	藤岡北	4	63.23	20	20	0	1		渋川みどり	4	86.67	47	47	0	2
	合計(7クラブ)		88.86	312	312	0	6		合計(7クラブ)		88.86	312	312	0	6

1月の行事予定

- 1月 5日 米山奨学生選考準備委員会
- 1月19日 第2回諮問委員会・GE 壮行会
- 1月24日 前橋6 RC 合同新年会
ガバナー歓迎会
- 1月26日 米山奨学生選考会
- 1月27日 ロータリー広報担当と
八社会の懇談会

1月のロータリー・レートは
1ドル 122円です

印刷用紙について

月信は見開きになりますので両面に印刷してください。インクジェットプリンタの場合、裏面ににじみまますのでインクジェット用両面印刷用紙をお勧めします。レーザープリンタ、コピーの場合は普通紙でも可です。